

基本構想策定の目的	基本構想の目標年次	本市の地域資源
<p>本市を取り巻く社会経済環境の変化に迅速かつ的確に対応するとともに、本市の真の緊急課題である人口減少に立ち向かうための新たなまちづくりの方向性として、多くの市民がこのまちで暮らし続けることができるようしごと創りなどに取り組むほか、持続可能な都市づくりを目指した多極型の「コンパクト・プラス・ネットワーク」の方針の下、10年後の将来を見据え、本市のまちづくりを総合的・計画的に進めるため、新たな総合計画を策定します。</p>	<p>2019年度を初年度とし、目標年次を10年後の2028年度とします。</p> <p>※基本計画 前期：2019年度から2023年度まで 後期：2024年度から2028年度まで</p>	<p>[人口・面積等] 287,648人、118,234世帯（2015年国勢調査）、824.61平方キロメートルで約70%が森林</p> <p>[自然] 陸奥湾、八甲田連峰、梵珠山など [温泉] 浅虫・八甲田地区の温泉など</p> <p>[祭・伝統芸能] ねぶた、浪岡北祭祭り、獅子踊など [特産品] りんご、カシス、ホタテ、ナマコなど</p> <p>[産業構造] 市内総生産の割合では第3次産業が89.8% [高等教育機関] 4年制大学4校、短期大学2校</p> <p>[都市基盤] 都市機能が集積、新幹線・空港・港など交通結節点</p>

「本市の直面する諸課題」「まちづくりの基本視点」「施策の大綱」【概念図】

